

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第9回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

- ・活動報告会の開催結果について
- ・地域独自の予算の事業一覧について

(2) 協議事項（公開）

- ・次期委員への申し送り事項について

3 開催日時

令和6年3月26日（火）午後6時から午後6時30分まで

4 開催場所

高土地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：上野秀平、玄蕃郁子、高橋清司（副会長）、田中利夫、塚田春枝、樋口里美、日向こずえ（副会長）、松山公昭（欠席3名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋副会長】

- ・挨拶

【山崎主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることになるが、会長不在のため、高橋副会長が議長を務めることを報告

【高橋副会長】

- ・会議録の確認：樋口委員に依頼

次第2 議題「(1) 報告事項」の「活動報告会の開催結果について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.1 に基づき説明

【高橋副会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、以上で次第2 議題「(1) 報告事項」の「活動報告会の開催結果について」を終了する。

次に、次第2 議題「(1) 報告事項」の「地域独自の予算の事業一覧について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.2 に基づき説明

【青木会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、以上で次第2 議題「(1) 報告事項」の「地域独自の予算の事業一覧について」を終了する。

次に、次第2 議題「(2) 協議事項」の「次期委員への申し送り事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.3 に基づき説明

【高橋副会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、各項目について協議する。『(1) 自主的審議事項』について、

これまでの協議経過以外で、申し送る事項はあるか。

(無しの声)

次に「(2) 地域活性化の方向性」について、申し送る事項はあるか。

【上野委員】

高士地区には大きなイベントとして「高士地区・高士小学校体育大会」、「敬老会」、「ふるさと高士まつり」、「灯の回廊・高士ルミネ」の4つがある。この4つを引き続き継続できるように、次期の委員に協議をしていただけるよう希望する。

なお、令和6年度地域独自の予算事業に「敬老会」以外の3つについては、継続事業としているが、高士の人たちが集まる場所、機会が設けられる事業があれば、次期委員にそのようなことを申し送っていただければと思う。

【高橋副会長】

他に意見はないか。

(無しの声)

次に『(3) その他の活動内容』について、申し送る事項はあるか。

【塚田委員】

コロナ禍でもあり、委員同士の交流の場が少なかったため、率直な意見が出にくい雰囲気があった。私は委員をさせていただき、とても勉強になった。でも、本当はもっと違う形で皆さんと率直な意見交換ができたら良かったと思う。自分の意見をきちんと発言しなかったことは反省している。

【高橋副会長】

他に意見はないか。

【玄蕃委員】

新しい委員の皆さんが、これからの高士地区をどうしていきたいのかを考えて進めていく、4年間にしていきたい。年齢に関係なく、いろいろな方からの意見がいかされる会であって欲しいと願っている。

【日向副会長】

次期委員への申し送りということであるが、私は協議会委員としてもう1期、高士区のために頑張っていきたいと考えている。

【高橋副会長】

青木会長からメッセージを預かってきたのでお伝えする。

意見書に対する回答を受け、今後の取組方針について、戦略的な打ち合わせが必要だったと反省した。協議会として、まちづくりセンターのアドバイスを基に、2か月という時間があつたのだから、地域の思いをもっと伝えて、誠意ある回答を引き出すことができたのではないか。意思疎通をして三位一体となり、まとめ上げることができなかつたことが非常に残念。地域協議会、まちづくりセンター、市の担当窓口が、しっかり打ち合わせができるような体制が必要だ。今の形をもっと充実させ、意見を伝えるためには、対面的な話し合いが必要ではないかと考えられる。以上である。

私としては、非常に難しい問題であるため、市の担当窓口の職員は、高士地区により良い回答を伝えることに苦戦していると勝手に判断し、2か月間待ってしまった。回答は、全然思惑とは違つたが、会長が言われるように、2か月もあつたのだから、その中で1回ぐらい会議を開いて、しっかり意見を伝えなければいけなかつたというところは、同じく反省した部分だ。

【松山委員】

申し送り事項としては、最初に集まつたときはお茶でも飲んで、懇談しなければ絶対に駄目だということ。今回、私は地元の集落の役員に頼まれて委員になった。4年間において、やりたいことを事務局に任せたのが一番の間違い。ここで皆さんと、どんなことでも素直に話し合えるように、私は意見が出やすい場面を作るように努力してきた。そうしていかないと途中で辛くなってしまう。それが一番困る。協議の前に、前回の報告を5分くらい行い、確認をしてから始めた方が良い。それを積み重ねていくと、ものすごくいいものができる。ぜひそういう会議の流れにして欲しい。今までのぬるま湯ではなく、一步踏み出して欲しいという要望だ。

【高橋副会長】

他に意見はないか。

(無しの声)

以上で次第2 議題「(2) 協議事項」の「次期委員への申し送り事項について」を終了する。

次に、次第3 その他「(1) その他」に入る。その他、何かあるか。

【松山委員】

報道で地域協議会の委員の数が、確か2人ということで報告されているが、この後の事務局の対応を、可能な限り教えていただきたい。

【小林所長】

- ・事務局の対応について説明

【高橋副会長】

他に何かあるか。

(無しの声)

【日向副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。